

THE DAY



NEWS LETTER

2025 / 2 / 1 Noboru Morishige

YouTube 森繁昇チャンネル



友達、親戚、家族、兄弟姉妹、このレターを読んでくださる皆さん 2025年2月1日

そろそろ寒さは弱まってきた頃でしょうか？
皆さんが元気になっておられることを願っています。

イエス様との毎日の生活

毎日やるべき仕事の中にも、もちろんイエス様の目的があります。でも、「今のこの仕事は早く終えたーい。」そういう時もありますね。

1月半ば、6年ぶりで3段の足場を組んだ。雨どいを打ち付けている2階のボードが何カ所か腐ったので、新しいボードに変えて修理しました。と言っても、私は助手で、大工のジーンとテリーが主役。笑。しかし、6年前、屋根の修理をしたのは、私とイエス様の二人だけ。今回も、足場の組み立てと取り外しは私とイエス様だけ。感謝！あの時、私は68歳。覚えてますかね？あの時、私はカレブのことを思い出しながらその仕事をしていました。（是非、読んでみてください。申命記1:36、ヨシュア記14章）…神がモーセに約束したことを、ヨシュアとカレブは聞いていました。そして、それから45年たった時、カレブは85歳。彼は、あたかも、昨日、神がモーセに約束したかのように、ヘブロン山地を自分に与えると言った神の約束をヨシュアに話すのです。（6年前、カレブのことを思い、御心なら、私もこれからだ！と自分に言っていました。歳のことも含めて…。）

6年前の屋根の仕事は、私の人生で一番危なく、

一番しんどい仕事でした。安全に終わらせてくださって、イエス様、ありがとうございます。もちろん、これらの生活の仕事が私の人生のメインの目的ではないのですが、その仕事も、私がこの世におらせてもらう間、やらなければならないことなのです。「メンドウダーー！」でも、そのボードが雨で長い間濡れれば腐ります。腐らないようにするのは、神からもらったものの世話をするという神の目的がその中にあります。もし、私が、その仕事の中に、神の目的を見ないなら、たぶん私は、「こんな仕事、ヤッテラレネー！」と、文句いっぱい、疲れるだけでしょうね。もちろん、誰にもつらい時はありますがね。「イエス様、



毎日、やるべきことを楽しくやらせてください。
ありがとうございます。」

「神のことばは、信じているあなたがたのうちに働いているのです。」(Ⅰテサロニケ 2：13)
「私は信じた。それゆえに語った。」(Ⅱコリント 4：13)

信仰によって…ノアは、

1月に同労者の方に感謝の手紙を書いていた時、その手紙の中で、私は、「今、この世で、私たちがイエスを伝えるのは、ちょうどノアが、神に箱舟を作るように言われて、箱舟を作っているのと同じようだ。」と言いました。正に！

歌「ささげた」

山の上に船を建てたノアのことを考えてみるよ
みんなから、バカだ、アホだ、
クレイジーだなんて言われたら
それでもノアは、神に従い通した
今日、君が生きてるのは、
彼が神に従ったからさ
あの時救われたのは、
たった8人だけだったのさ

どうしてノアはそんなことした？

ノアは神をよく知っていました。神が言えばその通りになるのです。その言葉は真実で完全で、絶対です。そして神のことば(命令)は、いつでも人の益のためです。ノアは、神と神のことばに従ったのです。神は、墮落したその時代の人々を滅ぼすと言われました。私はこれまで何回も人から聞いたことがあります、「神は無慈悲だ！ひどい神だ！神が愛なら、なぜそんなことをする！」と。しかし、イエスを知れば、十字架の上のイエスを心に見れば、彼らの言葉は間違っているのがわかります。

神の前に正しく生きていたノアの家族を救うた

め、洪水が起こる前に箱舟を作るように神はノアに命令しました。しかし、洪水がいつ起こるかはわからないのです。ノアにとって、いつ洪水が起こるのかというのは問題ではありませんでした。大事なのは、神が何をノアに命令したのか、何をノアに言ったのかということでした。

余談：歳の兆し

今これを書いていて思ったのですが、最近私がよく言う言葉に、「この話って、以前にも言ったことがありますよね？」があります。笑。「歳の兆し」というのをだいぶん前から私は幾つか聞いたことがあります。その1・同じことを何回も言う。私？それも何回も！言ったことを忘れたんですねー、笑。その2・話す声が大きくなる。多分耳が遠くなったからでしょうね。その3・食べこぼしが着ている服の胸にたくさんついてる。「口を閉じて噛みな！」と言いながら、私は自分の胸を見る。ガッハーっ！その4・充分水を飲むのを忘れる。その5・「あれー、何だったかなー？」というやつ。その6・何かをやるうとして、やる場所に向かって行ってる途中で、何のためにそこに向かってるのか忘れてしまう。このぐらいにしておきます。笑。今回のレターの内容も、私、前に…？

彼らは神を信じた。それゆえに彼らは行動をとった。

このことは、もちろんノアだけではありません。ヘブル人への手紙の11章に、天と地の全ての造り主である父なる神を信じて行動をとった人たちが勢揃いです。その人たち一人ずつの説明の初めに、「信仰によって、」という言葉が書いてあります。今回はこの人たちのことを話すのではなく、その言葉を通して、私たち個人個人にとってどんなことなのかを少し考えたいのです。

自分に対しての評価が低い。また、自分に対してのイメージが良くない

自分はダメだ…、私なんか…、わたし無理、わ

たし大したことない…。これらは自分を低くして、へりくだったキャラのように聞こえるかもしれませんが、そうではなくて、自分に対して自分の評価が低いのかもかもしれません。(実際、評価はどうでもいいのですが、説明のため。)

長い人生の中で、大変な家庭環境、いろんな失敗や落胆、人からの仕打ちや、良くなかった人間関係、予期しなかった悪い出来事等々。そのような中で、多くの人々は、知らないうちに自分を低く評価し、また良くない自分のイメージをつくってきたかも知れません。もちろん私も含めて。

しかし、私たちクリスチャンには、イエス様のあの約束の言葉があります!!

「そして、あなたがたは真理を知り、真理はあなたがたを自由にします。」(ヨハネ 8：32)
ヤッター！ イエス様ありがとう。

負けず嫌いのわがままな子ども

私は、幼い頃からとても競争心の強い子だったと思います。負けず嫌いの子でした。田舎の小学校の1学年のクラスは2クラスで多くの生徒はいません。でも、その少ない人数の中で自分は何をやっても1番になりたいのです。そのため私の心構えは、「僕は負けないぞ！」の気持ちが強く心にあっただと思います。今考えると神が私をそのように造ったんですね。しかし、神を知らなかったから、いつも自分中心で人生を進んでいきました。自分が負けるということを受け入れられなかったんですね。しかし、イエス様を知って、そのことから自由にされました。イエス様、ありがとうございます。

「神のことは、信じているあなたがたのうちに働いているのです。」(1テサロニケ 2：13)

この言葉は、なんかあまり目にとまらないで、さっと通り過ぎていきそうな気がします。そうではなく、とても重要な真理です。「神のことは、信じていない私のうちに働いていないのです。」勝手に変えて自分に言ってみましたが、そういうことですね。へーっ！

「私は信じた。それゆえに語った。」

このことは、神を信じると、神の導きの中で、神の約束に対する望みに基づいた行動が伴うのです。信じていたら行いが始まるということです。しかし、行いがあるから信じてるというのは、いつも正しいとは言えません。まず神と神のことばを信じて、それから、行いが出るのです。

もう一度ノアのこと

「信仰によって、ノアは、まだ見ていない事からについて神から警告を受けたとき、恐れかしこんで、その家族の救いのために箱舟を造り、その箱舟によって、世の罪を定め、信仰による義を相続する者となりました。」(ヘブル 11：7)

ノアは神を知っていました。それで神が洪水が来ると言われた時、それは間違いないと確信していました。そのように、今も、神のことばは変わらないのです。

神が何と言われたのか？ 聖書は何と言っているのか？

私が、今回分かち合いたい一つのことは、私も毎日経験させてもらってることで、神のことばに対して、私たちがどう思うか？ どう感じるか？ という事ではないのです。神のことばは完全に純粹、いつも正しく間違いがないのです。そして神のことばは、私たちにいつも益になるのです。私たちが、イエス様のことば、また、聖書(イエス)のことばに対して自分がどう思うかでなく、イエス様が、また、聖書が何と言っているか？ という事なのです。(ちょっと説明に欠ける。)

私たちが信じていることのいくつか

私がいつも話したい箇所なのですが、創世記1章1節、「初めに、神が天と地を創造した。」です。

神は、人をそれぞれ、その人しかいないように創造しました。今、世界の人口が何人か知りませんが、私という人は、また、あなたという人は、この世でたった一人です。そのことをしばらく考えてみると、神が造った私たち一人一人は、まず

神にとって、絶対貴重な存在だということが想像できます。仮に人が自分のことをどのように考えようが、どのように感じようが、どんなにつまらないもののように思おうが、神にとってのその人の大事さは変わらないのです。

次が、第一コリント人への手紙の6章20節です。

私たちは、「代価を払って買い取られたのです。」
買い取られた？ 誰に？ 神にです。

私たちは神のものなのです。そのことをパウロはその聖書の箇所で、私たちは代価を払って買い取られたと言ったのです。その代価とは、神ご自身のひとり子イエス・キリストです。イエス・キリストの命が、私たちの値段なのです。その値段で神は私たちを悪魔から買い取ってくださったのです。このことは、私たちが神にとってそれだけ（想像できないほど）高い値段だということです。このことから、仮に、私たちが自分のことをどう思おうと、自分がつまんない人、価値のない人、私なんか、って思うことがあるかもしれませんが、神にとって、私たちがイエス・キリストの命だけ高価で大切であるということとは変わらないのです。

今回（今年）思いを潜めさせてもらいたい聖書の言葉二つです。

(1)「まことに、まことに、あなたがたに告げます。

わたしを信じるものは、私の行なうわざを行ない…。」(ヨハネ 14：12)

(2)「なぜなら、神は、あらかじめ（前もって）知

っておられる人々を、御子のかたちと同じ姿に

あらかじめ（前もって）定められたからです。

それは、御子が多くの兄弟たちの中で長子とな

られるためです。」(ローマ 8：29)

「あらかじめ」という言葉が2度出ますが、それを、「前もって」と言い換えてみました。

For those God foreknew he also predestined to be conformed to the image of His son, that he might be the first born among many brothers and sisters.

those God foreknew……神が前もって知っていた人々・クリスチャン

He also predestined to be conformed to the image of His Son

predestined……前もってそうなるように決めた to be conformed to the image of His Son ……神のイエスのようになるように

私たちクリスチャンが、今、まだイエス様のようじゃあない時に、「私たちがイエス様のようになるように、前もって、神は決めた！」というのです。ゲー——っ！でしょッ！

「神のことばは、ノアの時と変わっていないのです。」これらの言葉を、自分がどう思うかとか、どう感じるかということではないのです。天と地の全てのものを造られた造り主の神である方がそう言われるのです。絶対、そうなるのです!!

「イエス様、あなたの言葉をありがとうございます。あなたとあなたの言葉を信頼して進めるよう聖霊の力で私たちが奮い立たせてください。ありがとうございます。」

「神のことばは、信じているあなたがたのうちに働いているのです。」(1テサロニケ 2：13)

Noboru Morishige

ザ・デイ / 森繁 昇

〒744-0019 山口県下松市桜町2丁目17-24

FAX▶ 0833-91-6492

E-mail▶ thewindisblowing@hotmail.com

振替口座▶ 01330-4-93687 ザ・デイ

HP / thedaywill.com

Noboru Morishige

P.O.BOX 1666

KEAAU, HAWAII 96749 U.S.A

TEL ▶ 808-966-9252

